

八王子千人同心



▲^{せんにながしら}千人頭・^{いしざか やじ えもん}石坂弥次右衛門（左から2人目 石坂栄夫氏提供）

八王子千人同心とは

みなさんが^{しゅうがくりょこう}修学旅行に行く^{にっこう}日光は、八王子^{せんになどうしん えん}千人同心が縁で八王子と^{しまいとし}姉妹都市になっているのを知っていますか。千人同心は^{ぼくふ}幕府から命じられた^{こうむ}公務（仕事）をする時^{いがい}以外は、畑仕事や^{けんじゆつ}剣術の^{けいこ}けい古をするなど、半分^{ぶし}武士、半分^{のうみん しゅうだん}農民の^{しゅうだん}集団でした。^{しのうこうしょう}士農工商という^{みぶんせいど}身分制度が^{かくりつ}確立されていた江戸時代には^{めず}珍しいことです。江戸時代のほとんどの^{まかん}期間、交代で日光の^{けいび}警備をしたほか、北海道の^{かいたく}開拓に従事したりしています。また、江戸時代の八王子を知るうえで、^{きちょう}貴重な^{しりょう}資料も^{のこ}残っています。

さて、八王子千人同心とは、いったいどんな人たちで、どんな^{かつやく}活躍をしたのかいっしょに調べてみましょう。

八王子千人同心の起こり

千人同心の前身は、甲斐の国（今の山梨県）の戦国大名・武田氏の家来で、小人頭に率いられ、甲斐の国境を守る軍事集団でした。武田氏が滅んだ後、徳川家康の家来となります。天正18年（1590）に北条氏が滅亡し、家康が関東を治めるようになると、この同心250名ほどが治安維持のために八王子城下に、その後江戸の守りを固めるために、今の千人町辺りに配置され、同心は500人に増えました。さらに慶長5年（1600）には、関ヶ原の戦いに備えて1000人となり、八王子千人同心と呼ばれるようになったのです。その組織は、千人頭と呼ばれる旗本（将軍に会うこともできる）が10人いて、それぞれ千人頭が100人の同心を統率していました。



▲千人同心屋敷跡の碑

千人同心の任務

千人同心の給料は現金ではなく、米で支払われました。千人同心は幕府から年間10～30俵ほどの米をもらって、これをお金に換えるほか、食べる分の米も支給されていました。千人同心は関ヶ原の戦いや大坂の陣にも参加し、江戸時代ははじめころまで江戸の守備部隊という役割を持っていました。ところが世の中が平和になると、その意味がうすれ、将軍が京都にのぼる時の警護などを命じられ、後には日光の警備などが主な任務となっていきます。

日光 火の番

慶安5年（1652）に千人同心は日光火の番を命じられ、交代で日光の警備にあたります。期間は、千人頭2人と同心100人で50日間、のちに千人頭1人に同心50人で半年間に改められます。主な任務は日光山内の見回りや火事の消火活動。八王子から埼玉、栃木を経て約160kmを4日間かけて歩いていきました。

のちに幕末になると、徳川幕府を倒すために官軍が日光を攻めようとなりました。この時、日光にいた千人頭・石坂弥次右衛門は、抵抗せずに日光を明け渡し、そのおかげで日光は焼かれずにすみました。ところが、石坂が八王子に戻ってくると、これを責

められ、石坂は切腹してしまいます。

八王子千人同心が日光を守ったことをきっかけに昭和49年（1974）には、八王子市と日光市が姉妹都市になっています。

北海道を開拓して

また、鎖国きこくといって、中国とオランダとしか貿易ぼうえきをしていなかった江戸時代も後半になると、蝦夷地えぞち（今の北海道）にロシアの船がやって来るようになり、幕府はこの蝦夷地を国を守るうえで重要じゅうようと考えるようになります。そんな時期に千人頭・原半左衛門はらはんざゑもんは、蝦夷地を守り開拓するために、千人同心の次男や三男などの子弟していを連れて行くことの許可きよかを幕府に求めました。寛政12年（1800）に、同心子弟ひきを率いて勇払ゆうふつ（今の苫小牧市とまこまい）や白糠しらぬか（今の白糠町）に向けて出発し、畑を作ったり道路を切り開いたりすることを始めます。ところが、厳しい寒さや病気などで、多くの犠牲者ぎせいしやが出たために数年で中止になってしまいました。

千人同心の蝦夷地開拓はこのように中止に終わりましたが、北海道開拓の第一歩を記念きねんして、苫小牧市とは昭和48年（1973）に姉妹都市になっています。

千人同心と地誌ちしの編へんさん

18世紀終わりごろの寛政の改革によって、武士には文武ぶんぶ（学問と武芸）の奨励しょうれい（すすめ、はげますこと）が行われました。千人同心たちは、武術ぶじゆつのけい古に力を入れたほか、文化活動もさかに行ないます。当時の村の様子や由来などをまとめた「新編武蔵国風土記稿しんべんむさしのくにふどきこう」や、千人同心の歴史れきしなどをまとめた「桑都日記そうとにっき」など、江戸時代の八王子や多摩たまたの様子を知るうえで、貴重な資料が作られました。



▲槍の訓練風景（『桑都日記』極楽寺本より）

調べてみましょう

ひとつのテーマについて調べる時、何冊かの本を調べることは、とても大切なことです。次にあげる参考文献は、図書館にある本の中で、小・中学生のみなさんにもわかりやすいものです。自分で調べ、まとめてみましょう。

- * 最初にかいてある数字は、本の背表紙についている分類（ラベル）番号です。
- * ☆印のついてるものは、特に小学生におすすめのものです。

21-05 はちおうじの教育（パンフレット） 八王子市教育委員会／編

No. 25 「成り立ち」、No. 26 「身分と公務」

No. 27 「日光勤番とその道中」、No. 28 「蝦夷地入植と地誌検索」

No. 29 「幕末の千人同心」、No. 30 「組織の解体と静岡移住」

21-20 八王子の歴史と文化（八王子市郷土資料館展示ガイド）

八王子市郷土資料館／編 1987年

先史時代から近代までの八王子の歴史。図や絵や写真が多い。

☆21-20 こども歴史シート 八王子市郷土資料館／編

こどもから質問の多い事柄について、やさしくまとめたシート

☆21-20 千人のさむらいたち～八王子千人同心～ 八王子市郷土資料館／編

千人同心の成り立ちから解体までが、たくさんの図版や写真を使って簡潔に解説されている。 2003年

☆21-20 八王子千人同心の任務 樋口豊治／著 1991年

千人同心についてやさしく解説。むずかしい言葉の注記もついている。

21-20 市民のための八王子の歴史 樋口豊治／著 1998年

旧石器時代から現代までの八王子の歴史を解説。
項目の長さがちょうどいい。

☆21-29 郷土みてある記 八王子市生活文化部広報課／編 1995年

小学校の先生が、八王子の歴史や、関係の深い人物や動・植物、事柄を小学生にもわかるようにやさしく解説したもの。

インターネット情報 「八王子市役所キッズコーナーぎんなん（江戸時代と千人同心）」

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/ginnan/rekishi/sub4.htm>

編集・発行 八王子市中央図書館 2010年12月

八王子千人同心

参考文献を所蔵している図書館 ※2015年12月現在

表の中の○は貸出もできるもので、△は見たり、コピーしたりできます

タイトル	所蔵図書館					
	中央	生涯	南大沢	川口	北野	みなみ野
はちおうじの教育	△	△	△	△		
八王子の歴史と文化（郷土資料館展示ガイド）	○	○	○	○	△	△
こども歴史シート	△	△	△	△	△	
千人のさむらいたち ～八王子千人同心～	○	○	○	○	○	△
八王子千人同心の任務	△					
市民のための八王子の歴史	○	○	○	△	△	△
郷土みてある記	△	△	△	△		